



『一つ目小僧』

岬の先端に建つ大きな塔がある。誰もそこへは近づかない。なぜなら夜になると塔の上から一つ目小僧が現れるからだ。その目は船を岬に近づけさせないために強い光で驚かせている。でも足元は真っ暗闇だ。

～解説～

一つ目小僧の正体は海の安全を守る灯台だったという物語です。

灯台の光は、水平方向に強い光を放つので灯台の下は思っているより明るくありません。このような状態を昔から「**灯台下暗し**」と呼んでいます。



1等レンズ



海の「もしも」は**118番**